

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公表番号】特表2002-502836(P2002-502836A)

【公表日】平成14年1月29日(2002.1.29)

【出願番号】特願2000-530488(P2000-530488)

【国際特許分類】

C 07 C	49/84	(2006.01)
A 61 K	31/085	(2006.01)
A 61 K	31/09	(2006.01)
A 61 K	31/12	(2006.01)
A 61 K	31/145	(2006.01)
A 61 K	31/275	(2006.01)
A 61 K	31/4406	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 07 C	43/215	(2006.01)
C 07 C	205/35	(2006.01)
C 07 C	255/36	(2006.01)
C 07 C	327/44	(2006.01)
C 07 D	213/57	(2006.01)

【F I】

C 07 C	49/84	C
A 61 K	31/085	
A 61 K	31/09	
A 61 K	31/12	
A 61 K	31/145	
A 61 K	31/275	
A 61 K	31/4406	
A 61 P	35/00	
A 61 P	43/00	1 2 3
C 07 C	43/215	
C 07 C	205/35	
C 07 C	255/36	
C 07 C	327/44	
C 07 D	213/57	

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月27日(2006.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

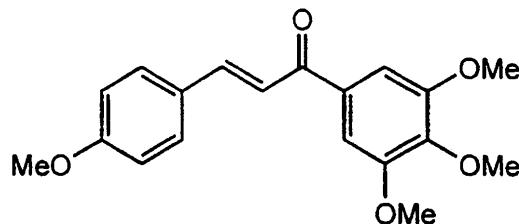
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】腫瘍の治療用の薬剤の製造における、一般式VII又はXIIのいずれか一方を有する、酵素による芳香族ヒドロキシル化によって活性化されたプロドラッグの使用。

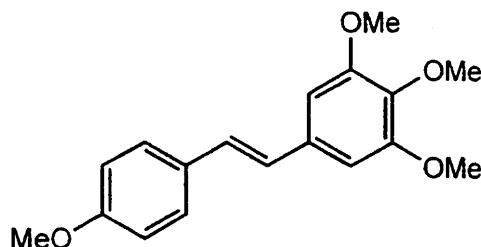
(VII) :

【化1】



(XII) :

【化2】



【請求項2】 前記薬剤がさらに薬学的に許容しうるキャリア、希釈剤または賦形剤を含有する、請求項1に記載のプロドラッグの使用。

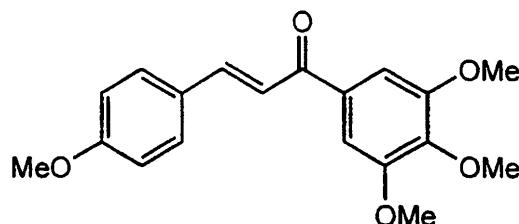
【請求項3】 プロドラッグがCYP1B1によってヒドロキシル化される請求項1または2に記載のプロドラッグの使用。

【請求項4】 プロドラッグが、一般式VII及びXIからなる群のいずれか一方から選択され、かつ、ヒドロキシル化された状態の有糸分裂阻害剤である請求項1から3のいずれか1項に記載のプロドラッグの使用。

【請求項5】 (i) 一般式VIIまたはXIのいずれか一方を有する化合物を細胞試料に投与する工程と、

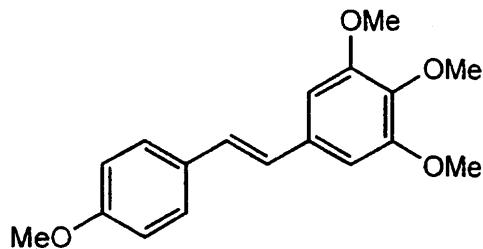
(VII) :

【化3】



(XII) :

【化4】



( i i ) 前記細胞中に、前記化合物のヒドロキシル化された代謝物が存在するか、存在しないかを測定する工程と、

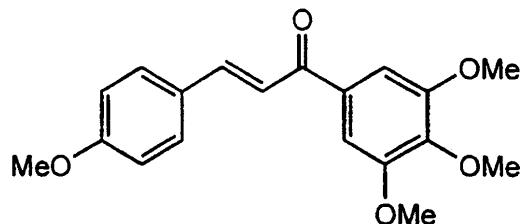
( i i i ) 工程 ( i i ) の結果を腫瘍状の細胞試料の存在又は不在と相互に関連させる工程と、

からなる腫瘍の状態の細胞試料の診断方法。

【請求項 6】 腫瘍の治療用の薬剤の製造における、一般式 V11又は X11のいずれか一方を有する、酵素による芳香族ヒドロキシル化によって活性化されたプロドラッグの使用による治療法。

( V11 ) :

【化 5】



( X11 ) :

【化 6】

